

Use of Silver Points

シルバーポイントの使用

AAE ポジションステートメント

米国歯内療学会は、歯内療法の実践において最高レベルのケアを維持することに専念している。その献身の一環として、AAE は積極的に歯内治療のすべての段階で安全で効果的な材料の使用をサポートしている。AAE は、特定の患者または特定の状況に対する「最も安全な」または「最も効果的な」材料に関して、専門的な意見の正当な違いが存在する可能性があることを認識している。専門家の意見のそれらの正当な違いを認識した上で、AAE は特定の材料の使用を推奨していない。だが、AAE は臨床的に問題があることが示されている、シルバーポイントを使用しないことを推奨している。

シルバーポイントは歴史的にも、根管充填材料としてよく受け入れられてきたが、現代の技術と改良された材料は、臨床医にはるかに良い選択肢を提供する。

シルバーポイントは、不安定な電気化学的挙動のために血清および血液の存在下で自発的に腐食することが示されている。腐食副産物はまた、歯の構造および周囲の組織の不可逆的な着色を引き起こす可能性がある（アルギロシス）。シルバーポイントは可塑性を欠いており、その結果、流動せず、根管形状に適合しないため、充填材として好ましくない性質を持つ。シルバーポイントの使用に関連するさらなる臨床的／実用的な問題がある。具体的には：

- ・ポストとコアの築造は、シルバーポイントの存在下では不可能になり、別の材料と置き換えるための再治療が必要になる；
- ・金属で満たされた根管の、根尖部の形成は非常に複雑であり、根尖部外科手術を困難にする； また、
- ・アルギロシス(銀症)および歯根周囲の炎症を引き起こす腐食生成物は、炎症性歯根吸収を誘発する可能性を有する。

新しい材料に対するシルバーポイントの欠点にも関わらず、明白な歯内病変が存在するまたはシルバーポイントによって適切な補綴が困難になるというわけでなければ、AAE は予防的手段としてシルバーポイント充填の置き換えを推奨していない。AAE は、効果的な治療は科学的エビデンスに基づいて行われるべきだとしている。